

建築・都市



キーワード：都市計画史、持続性のあるまちづくり、地域資源の価値付け

地域文化資源の新たな価値付け
一街の歴史や成り立ちを掘り起こし、建築資源・空間資源の価値を見える化する

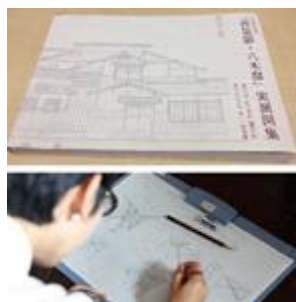
理工学部 建築学科 教授
加嶋 章博 KASHIMA Akihiro

研究の内容

研究室では、身近な地域に目をむけ、見過ごされがちな土地の地域資源の新たな価値づけに向けて、デザイン思考から提案を行います。例えば、地域にとって大切な建築資源がある場合、その建物を徹底的に調べ、あまり認識されていない価値を探索します。そして、それをどのようにすれば見える形となり、市民の理解を得て、地域の大切な文化資源としての認識を高めることができるのか、また、様々な視点から保存継承の方途を探ります。具体的には、市民向けの情報発信や解説資料の作成から建物実測、図面や模型による復元など、また、プロモーション映像の制作や大人や子ども向けのリーフレットのデザイン、建物や場所ガイドなどを行ったりします。地域資源としての価値認識を高めるためのデザインアプローチというスタンスから、手段とアウトプットのかたちは多岐にわたります。

取り組み事例

- ・香里園・八木邸プロジェクト（木造モダニズム作品の実測・図面集作成・模型・CG復元・公式案内リーフレットの作成など）
- ・地域資源見える化プロジェクト（寝屋川市のプロモーション：映像作品「水路と生きる」など）



建物実測と図面作成



地域資源に関する映像制作



地域に残る建物公式案内リーフレットの作成

産学連携・社会連携へのアピールポイント

地域資源の新たな価値付けにより、地域の魅力を再認識し、土地への愛着と誇りを醸成することを目指した具体的な活動を学生と地域住民の皆さんと共に進めます。

都市文化共生デザイン研究室

URL : https://gyoseki.setsunan.ac.jp/html/100001005_ja.html

